



フォルクスワーゲン「コンセプト ブルースポーツ」をデトロイト モーターショーで発表
米国でも更なる TDI シリーズを展開

ウォルフスブルグ/ デトロイト

「最高のドライビングプレジャーを最小の燃料消費で」。フォルクスワーゲンは、2009 年の幕開けにあたり、「コンセプト ブルースポーツ」でドライバーの夢を叶えます。名称が示すとおり、現段階ではコンセプトカーですが、ピュアなダイナミズムを提供しながらも、従来のスポーツカーからは考えられない低燃費 4.3L/100km (ECE。1 リッター当たり 23.2km) を実現しています。また、CO₂ 排出量: 113g/km という驚くべき低排出ガス性能を達成すると同時に、ピュアなロードスターとしてのパフォーマンスも提供、新たなドライビングプレジャーを感じさせてくれるでしょう。米国ミシガン州で開催されているデトロイト モーターショー会場でフォルクスワーゲン AG ヴィンターコロン会長は「『コンセプト ブルースポーツ』は、明快にフォルクスワーゲンを主張する、情熱的なコンパクトオープンカーです。フォルクスワーゲンの“効率の高さ”をフィロソフィーに開発され、研ぎ澄まされた運動性能を 180 馬力のクリーンディーゼルエンジンで提供します。」と語りました。

全長 3,990mm の「コンセプト ブルースポーツ」は、ミッドシップの 2 シーター ロードスターです。前後重量配分は 45:55。2 座のスポーツシートの背後には、2 リッターの排気量から 132kW/180PS を発生し、コモンレールインジェクションと NOx 吸蔵触媒を有するクリーンディーゼルが搭載され、世界でもっとも経済的かつダイナミックなトランスミッションである 6 速デュアルクラッチ トランスミッション (DSG) をあわせて採用します。この DSG により、0~100km/h へは 6.6 秒で加速し、最高速度は 226km/h に達します。クラス最高のボディ剛性を確保する一方、車両重量は 1,200kg 未満に抑えられました。

走りの楽しさを追求するスポーツカーにおいても、低燃費化と低排ガス化を図り、環境への負荷を低減することが重要となることは明らかなです。コンセプト ブルースポーツには、アイドリングストップ システムと制動エネルギー回生を核とする「エコモード」機能を追加し、資源保護と環境保護、そしてランニングコストの削減に積極的に取り組んでいます。このテクノロジーにより、市街地走行中に最大で 100km あたり 0.2 リットルの燃料を節約します。

その他出品モデル

トゥアレグ V6 TDI:	165kW/225PS のクリーンディーゼル。BIN5 排ガス規制適合。
トゥアレグ「Lux Limited」:	限定 1,940 台。専用 20 インチ アルミホイール、2 トーン レザー他採用。
ジェッタ TDI:	103kW/140PS の 4 気筒ターボクリーンディーゼルは BIN5 排ガス規制に適合し、1,300 ドルの優遇税制対象。